

2014年3月期 第3四半期連結決算報告 (2013年4月1日～2013年12月31日)

- 累計第3四半期業績は見通しどおり
- コスト削減により前年比で営業利益改善
- 市場状況は引き続き安定
- リストラ施策は計画通り進捗、生産効率の改善を継続

コスト削減により前年比で営業利益改善

- グループ売上は、4,512億円で前年比17%増収(前年同期3,850億円)為替変動を除くと前年と変動なし
- 無形資産償却と個別開示項目前営業利益は、コスト削減を反映し142億円(前年同期47億円)
- 建築用ガラス事業は、売上1,814億円(前年同期1,623億円)、営業利益73億円(前年同期損失14億円)
- 自動車用ガラス事業は、売上2,247億円(前年同期1,769億円)、営業利益67億円(前年同期27億円)
- 高機能ガラス事業は、売上444億円(前年同期448億円)、営業利益39億円(前年同期45億円)

市場状況は引き続き安定

- 欧州建築用ガラス市場は概ね安定
- 欧州自動車用ガラス市場も安定的に推移し、改善の兆し
- 日本では、建築市場は経済指標が引き続き改善。自動車市場では、消費税増税前の駆け込み需要増および円安により完成車輸出増
- 北米では、旺盛な国内需要により建築市場改善。自動車市場も引き続き堅調
- その他地域では、建築用ガラス市場は市場状況改善、自動車用ガラス市場は地域により硬軟混在
- 高機能ガラス市場は、サブセグメントごとに好調と低調が混在

リストラ施策は計画通り進捗、生産効率の改善を継続

- リストラクチャリングにより、前年比75億円の利益効果
- 生産性改善は依然主要項目であり、施策を引き続き継続
- 当第3四半期中に英国コーリーヒルの建築用フロートラインを休止
- 引き続き収益力回復に注力
- 通期業績見通しは変更なし

連結損益計算書



(億円)	14年3月期 4月-12月期	13年3月期 4月-12月期	前年比
売上高	4,512	3,850	17%**
無形資産償却前営業利益	142	47	
償却費*	(58)	(50)	
個別開示項目前営業利益(損失)	84	(3)	
個別開示項目	(95)	(211)	
営業損失	(11)	(214)	
金融費用(純額)	(132)	(119)	
持分法による投資利益	8	10	
税引前損失	(135)	(323)	
当期損失	(137)	(327)	
親会社の所有者に帰属する当期損失	(148)	(333)	
EBITDA	380	261	46%

*ビルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却

**為替変動を除くと0%

コスト削減により前年比で営業利益改善

2014年1月31日 | 2014年3月期第3四半期決算報告